

様式第 2 号（第 6 条関係）

（表）

酒田市公益活動団体協働提案書

酒田市長宛

〇〇年〇〇月〇〇日

団体名 酒田湊会
所在地 港町 1-1-1
代表者名 代表 酒田あなのん

次のとおり、協働事業に関して提案します。なお、会員名簿（役員名簿）・担当者連絡先を除き公開を承諾いたします。また、裏面の暴力団排除に関する誓約事項を確認し誓約・同意します。

1 事業種別	☒ 団体提案型 ☐ 行政提案型
2 事業名	さかた公益の仲間づくり事業
3 事業期間	〇〇年〇〇月〇〇日～ 〇〇年〇〇月〇〇日
4 事業予算	200,000 円
5 事業概要	ボランティア・公益活動を実践する市民を増やすために、ボランティアのきっかけとなる体験企画、シンポジウムなどを実施する。 ボランティア活動に関心を持つ市民を増やすためには、どのようなアプローチ手法が有効なのかも含めて広く検討を行う。
6 添付書類	☒ 協働事業企画書（様式第 3 号） ☒ 協働事業収支予算書（様式第 4 号） ☒ 団体概要書（様式第 5 号） ☒ 定款又は規約等 ☒ 会員名簿（役員名簿） ☒ 団体の直近の予算及び決算に関する書類 ☒ 課税台帳閲覧同意書（法人市民税の申告義務のある団体に限る） ☐ その他

記入例

様式第3号（第6条関係）

協働事業企画書

団体名 酒田湊会

事業名	さかた公益の仲間づくり事業 (1 年目)	
総合計画上の位置づけ	1-1 市民参加があふれ、協働が広がる公益のまち 施策3 市民活動の支援	
想定される担当課	共生社会課	
他団体等（行政以外）の協働の可能性の有無	有 ・無 ※有の場合の団体（ ）	
事業の概要	現状・課題（社会的課題）	人口減少、超高齢社会によって、地域の課題は多様化してきている。その解決のためには、市民による自発的な公益活動が重要となってきた。
	目的・必要性	酒田を魅力的な公益のまちとしていくためには、市民の自発的な公益活動は重要であり、活動を実践する層を増やしていくことが必要である。
	内容（人数、対象者等）	ボランティア・公益活動を実践する市民を増やすために、そのきっかけとなる体験企画や、シンポジウムの開催を検討する。
	成果目標（数値目標）	・シンポジウムへの参加者 20名以上 ・シンポジウム後の参加者のボランティア参加率（シンポジウムの3カ月後アンケート実施） 80%
	実施期間	〇〇年〇〇月〇〇日～ 〇〇年〇〇月〇〇日
	事業予算	事業費総額 200,000 円 (自主財源 40,000 円 市負担金 160,000 円)
	事業スケジュール	1 年目 市担当課と事業の企画 2 年目 事業の実践（年内に2回は企画実施） 事業の振り返り

記入例

	アピール ポイント	長年に渡る活動経験によって、ボランティアを身近に感じるこのことのできる有意義な企画を実現できる。
	将来展望 (今後の計画性・継続性)	本事業をきっかけに、ボランティア・公益活動に関心を持った方たちが、活動を始めっていくことで、市内全体で活動の広がりが見込まれる。
協働	協働の必要性	行政が協働することで、広報力と信用が付与されることにより、より多くの参加者が集まることが期待できる。複数の主体が関わることで、より質の高い企画が立案できる。
	役割分担	【団体の役割】 ・企画立案、事業運営 ・広報への協力
		【行政の役割】 ・企画立案、事業運営の補助 ・広報の実施 ・会場の斡旋
	協働による効果(メリット)	【協働によって得られる相乗効果】 それぞれのネットワークを活かして、多くの層に周知をすることができる。 行政側としては、現場での活動を知り、理解を深める機会となる。
		【団体にとってのメリット】 団体単独で実施した際に比べて、多くの参加者を集められることが期待できる。
		【市にとってのメリット】 市総合計画で掲げられている、ボランティア活動に取り組んだ市民の数を増やすことに資する取り組みとなることが見込まれる。
		【市民・社会にとってのメリット】 市民の草の根の公益活動が広がることにより、酒田をより魅力的なまちにすることにつながる。

協働事業収支予算書

団体名 酒田湊会

事業名 さかた公益の仲間づくり事業

<収入> 単位(円)

区分	項目	予算額	積算内訳
団体	事業収入	6,000	参加費 300円×20人=6,000円
	その他収入	59,000	協賛金3社 4,000円×3社=12,000円 自己資金(会費含む) 47,000円
市	負担金	249,000	酒田市公益活動団体協働提案負担金
合計		314,000	④

【団体提案型】
交付対象経費合計(②)×4/5以内
例) 311,428円×4/5≒249,000円
【行政提案型】
交付対象経費合計(②)
例) 311,428円≒311,000円
※上限50万円、千円未満切り捨て

<支出> 単位(円)

区分	項目	予算額	積算内訳・使途目的	収入合計(④)=事業費合計(③)
対象経費	謝金	60,000	講師謝金 2人×30,000円	収入合計(④)=事業費合計(③)
	旅費	35,400	講師旅費 2人×17,700円(山形市～酒田市、高速バス+1泊)	
	消耗品費	12,600	事務用品 22,600円	
	印刷費	100,000	パンフレット印刷費 2,000部 80,000円 シンポジウム資料印刷費 500部 20,000円	
	賃借料	10,000	会場借上料 5,000円×2=10,000円	
	人件費以外の合計	218,000	①	
	人件費	93,428	企画検討 1,000円×8時間×4人=32,000円 資料作成 1,000円×12時間×4人=48,000円 シンポジウム運営スタッフ 1,000円×4時間×4人=16,000円 (うち、2,572円は対象外)	交付を希望する経費のみのご記入でかまいません。事業にかかるすべての経費を書く必要はありません。 人件費は補助対象経費合計(②)の3割以内の範囲で申請してください。以下を満たしていれば申請可能です。 人件費以外の合計(①)×3/7>=人件費 単価に基づく計算により3割を超えてしまう場合は、積算内訳に計算式と「(うち、〇〇円は対象外)」と書き、対象外経費欄に超過分を記入してください。
対象外経費	交付対象経費の合計	311,428	②	
	人件費	2,572		
	対象外経費の合計	2,572		
事業費合計		314,000	③	

団体の経常的な費用など、人件費等をすべて書く必要はありません。

様式第 5 号（第 6 条 関係）

団 体 概 要 書

1 団体名	（ふりがな） さかたみなとかい 酒田湊会
2 所在地	〒 9 9 8 - 〇 〇 〇 〇 酒田湊町 1 - 1 - 1
3（肩書）代 表者名	肩書（代表） 氏名 さかたあ の の ん
4 設 立 年 月 日	〇 〇 年 〇 〇 月 〇 〇 日
5 連絡先	連絡者氏名：さかたもしえのん 住所：酒田港町 1 - 2 - 3 電話番号：4 2 - 〇 〇 〇 〇 ファックス： 携帯電話番号：0 8 0 - 1 2 3 4 - 〇 〇 〇 〇 電子メールアドレス：tanaka@△ △ . com
6 活動目的	福祉施設でのボランティア活動 市内での公益活動に関する研修会の実施など
7 会 員 数 及 び 年 会 費	正会員 1 0 人（年会費 2 0 0 0 円） 賛助会員 5 人（年会費 1 0 0 0 円） （〇 〇 年 〇 月 〇 〇 日 現 在）
8 活動場所	市総合文化センターなど
9 主 な 活 動 内 容 （ 実 績 ）	福祉施設でのボランティア活動 年 2 回 の 研 修 会 実 施
10 活 動 ・ 事 業 の P R 方 法	会報・広報紙（誌） 有 ・ 無 年 回 発 行
	団体のホームページ（ 有 ・ 無 ） U R L :
	その他 有 ・ 無 （ 団 体 の F B の ページあり ）